

《担当者名》准教授 / 町田 拓自

【概要】

生体機能の理解や疾病の病態生理研究の進歩により、近年新しい医薬品、特に生物学的製剤や分子標的薬が開発・臨床応用され、高い治療効果を上げている。本講義ではそのような医薬品に焦点を当て、その作用機序や副作用、使用上の問題点などを修得する。

【学修目標】

- ・血液凝固系に作用する新しい生物学的製剤の作用機序、薬理作用、副作用などを説明できる。
- ・造血系に作用する新しい生物学的製剤の作用機序、薬理作用、副作用などを説明できる。
- ・その他の新しい生物学的製剤や分子標的薬の作用機序、薬理作用、副作用などを説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	生物学的製剤とは	現在使用される生物学的製剤・分子標的薬の現状について説明できる。	町田 拓自
2	血栓形成機序 1	止血血栓及び病的血栓形成機構について説明できる。	町田 拓自
3	血栓形成機序 2	血液凝固系に関する最新知見を紹介できる。	町田 拓自
4	抗血小板薬概論	現在使用される抗血小板薬について説明できる。	町田 拓自
5	新規抗血小板薬	新規チエノピリジン系抗血小板薬の最新知見を紹介できる。	町田 拓自
6	抗凝固薬概論	現在使用される抗凝固薬について説明できる。	町田 拓自
7	新規抗凝固薬	新規経口抗第Xa因子阻害薬の最新知見を紹介できる。	町田 拓自
8	血栓溶解薬概論	現在使用される血栓溶解薬と新規薬物について説明できる。	町田 拓自
9	造血薬概論	現在使用される造血薬について説明できる。	町田 拓自
10	造血因子製剤	新規血小板減少症治療薬の知見を紹介できる。	町田 拓自
11	白血病治療薬概論	白血病治療に用いられる生物学的製剤・分子標的薬について説明できる。	町田 拓自
12	抗悪性腫瘍薬概論	悪性腫瘍に用いられる生物学的製剤・分子標的薬について説明できる。	町田 拓自
13	抗リウマチ薬概論	現在使用される抗リウマチ薬について説明できる。	町田 拓自
14	抗サイトカイン薬	TNF- 関連薬についての最新知見を紹介できる。	町田 拓自
15	まとめ	これまでの項目に関連した論文内容についてレポート作成する。	町田 拓自

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

受講態度（出席を含む：20%）、学習目標の到達度（関連論文内容の概説とレポート）（80%）

【教科書】

なし

【参考書】

上記項目に関連する論文（英文）

【学修の準備】

授業内容に関連する病態生理、基礎薬理学的な知識を良く理解しておくこと。